

第5次留萌市総合計画検証(留萌市議会)

A：政策の実現に向かっている B：政策の実現に近づいているが施策の見直し・改善が必要 C：政策の実現に近づいていないので根本見直し D：政策の実現に向かっていない

施策区分	分会	評価	施策検証		第6次の政策又は施策(推進事業等を含む。)の実現に向けた提案等
			「成果指標」又は「目指す姿」	施策全般	
001	新産業・起業	①	C	・1年間に起業した会社の数など具体的な情報を記載してほしい。出来るのであれば自然発生でなく行政の施策として起業した数値が必要。	・「起業」は幅広い分野の起業への総合的な情報提供等積極的な相談窓口やサポート体制の構築、「新産業」は技術やノウハウの産学官の交流・連携を図るネットワークの構築に向けた市の施策を検討すべき。
002	中小企業	①	C	・住宅改修促進助成金の助成対象について、新築も含めた検討が必要である。	・地域企業の競争力を高めるため、高付加価値化への産学官の連携、異業種交流、農(漁)商工連携等、地域の独自支援策が必要と考える。さらには国の新たな経済成長戦略を見極めた中で、効果的な情報提供と支援策の構築に向けた検討が必要である。
003	雇用・労働	①	C	・各産業分類ごとの雇用の実態がわからないため、就労に関する人数のデータが必要と考える。 ・産業分類ごとの雇用政策が必要なのでは。	・高齢者、障がい者、若者や女性などが地域で就労できるように関係機関と連携した情報提供と相談体制の充実、また職業能力開発への支援や事業者への助成などにより多様な雇用の拡大に向けた、留萌市独自の中長期にわたる取り組みが必要である。
004	地場産品・水産加工	①	B	・ユジノサハリンスク道北物産展参加事業には、留萌市の水産加工品を出品できるようにチャレンジを試みてほしい。	
005	商店街	①	C	・空き店舗に関する数がわからない。空き店舗が埋まってもなかなか定着しない現状があるため、育成策が必要と考える。	・高齢化や後継者問題による空洞化が進む中で、商店街の維持と活性化を図るために、緊急の課題として商店街に求められていることや支援のあり方(空き店舗対策だけでなく、総合的な商店街の賑わい対策)などを改めて検討し、具体策として構築していく必要がある。
006	都市計画・再開発・路外駐車場・国土利用	①	C		・駐車場以外に都市計画、再開発を行う必要がある。
007	地籍調査・住居表示・町名及び町界	①	A		
008	都市景観・屋外広告物	①	A		
009	中心市街地	①	C	・施策区分005商店街施策と同様。空き店舗に関する数がわからない。空き店舗が埋まってもなかなか定着しない現状があるため、育成策が必要と考える。	・商店街と併せて、新たな地域間の交流を含めた賑わいと魅力のある中心市街地の再生については改めて効果的な政策として検討していく必要がある。
010	道路・橋りょう	①	A		・ユニバーサルデザインの視点による人にやさしい安全性、快適性や利便性のある道路整備についてはこれからの課題であるので、歩道のバリアフリー化等、計画的な整備を検討する必要がある。
011	市民活動	①	B	・制度の運用が十分なされていないため、広くPRを行う必要がある。	
		②	B	・地域コミュニティを再生させるために、市民活動を援助するため、これからも市民活動の必要性を考え、相談業務を一体化する方向で考えてほしい。	・市民相談は多岐にわたっているため、窓口相談業務を「一体化」(ワンストップ)する方向で考えて欲しい。市民相談の中には、町内会関連も多いので、市民活動をスムーズに推進していく為にも、担当所管(市民課、政策調整課)も含めた見直しが必要。
012	男女平等参画	①	C		・市の審議会委員等における女性登用率の取り組み以外には具体的な成果が見えていないので人材育成、共同参画教育の推進や事業所でのワーク・ライフ・バランスの推進等について事業実施や支援策を充実させる必要がある。
013	審議会・委員会	①	C	・市役所で公募しても同じ顔ぶれが並んでいるため、公募の在り方等を含めを抜本的に見直す必要がある。	・委員の公募制度においては、現実的な応募状況が低迷してきているので地域における人材育成を含めて、公募制度の充実に向けてPR等を含めた新たな取組が必要である。
014	町内会	①	B	・町内会の加入率も下がっているため、町内会の必要性をPRする必要がある。	
015	コミュニティセンター・町内会館	①	B	・コミュニティセンター本来の機能(活用方法)を議論して欲しい。	
016	集会施設	①	B	・施設の利用・目的を把握した施策が必要。	
017	健康・保健予防・介護予防	②	A	・各種の講演会の開催、国保事業として特定健診の電話勧奨など頑張っている。 ・減塩対策事業を展開しているが地域の問題意識をもって取り組んでほしい。 ・コホート研究事業は、全道的に注目されている。 ・市民の健康が全市的にさらに向上していくよう目指してほしい。	・地域コミュニティセンターで、健康増進事業が毎月のように行われているが、もっと参加者が増え、継続した取り組みとなるような工夫が必要。 ・保険医療課と「るもい健康の駅」が連携を深めることで、さらに事業効果が高まるのではないかと。第6次総合計画に向けて、横の連携を密にしてほしい。
018	地域医療	②	B	・施策区分の「地域医療」と「地域センター病院」の評価の整合性がとれない。現実とかけ離れた評価になっている。 ・医師確保など、医療スタッフが整備されていない。 ・市内の病院がかかりつけ医の役目を果たし、市立病院は二次救急医療機関の役割を果たす。このことをしっかりと整備してほしい。 ・地域医療を市立病院任せにしている。医者の偏在が大きく、このままでは地域医療を守れない。	・地域医療に対する満足度は、現状22.7%、目標値が60%で乖離が大きい、どのように満足度を確実に上げていくのか検討すべき。 ・地域の中の医療体制を充実すべきだが、連携を図ることは遅れている。(医療機関) ・1次2次の医療機関の流れが整備されていない。整備を進める努力が必要。

第5次留萌市総合計画検証(留萌市議会)

A：政策の実現に向かっている B：政策の実現に近づいているが施策の見直し・改善が必要 C：政策の実現に近づいていないので根本見直し D：政策の実現に向かっていない

施策区分	分会	評価	施策検証		第6次の政策又は施策（推進事業等を含む。）の実現に向けた提案等
			「成果指標」又は「目指す姿」	施策全般	
019	地域センター病院	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 現在ある医療資源を活用して事業をやっているため達成。 センター病院の役目を果たしていない。 脳神経の疾病は、民間に委ねられていることは課題ではないか。 市立病院の経営改善という点で、経営破綻しなかったのは評価すべき。ルールに基づいた支援しているが、根本的な解決策を模索すべき。 地域医療を支える中核病院として、センター病院として、今まで救急・小児科を担ってきている。 公営企業法全部適用の体制についての検証と評価をすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域センター病院として充実した医療体制になっていくよう、これからの経営に期待し見守っていききたい。
020	地域福祉	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 市民の日常生活の安心感が高まっていない。地域福祉は、ボランティアや民生委員などが支えているが、ボランティアを支える施策が必要。 地域の高齢者が増えて、民生委員が玄関先の雪除けに走っていきたりしている。市民の社会福祉を民生委員と社会福祉協議会に任せっきりになっている。流れをしっかりと改善し、連携を密にして民生委員が悩まないシステムを構築する必要がある。 平成20年に民生児童委員や社会福祉協議会が現行の法律において自治体の施策を実現する上での組織形態になったが、指示命令系統や日常の事業展開が曖昧になっている。 例えば身元引受人は従来民生委員に行ったが、今は町内会長にきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員への活動に対する指示系統を調査すべきではないか。 また、民生委員のなり手など介在する課題についてもどうなっているか把握し、改善するための取り組みを強化してほしい。
021	高齢者	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 引きこもりの高齢者対策を考えるべき。 超高齢化対策として、老人クラブ連合会がいろんな施策をしていくかは疑問符。学ぶための大学もあるがマンネリ化の傾向にある。 高齢者の健康に関する施策が見えていない。 高齢者事業団には7年前に財政健全化のために補助金がカットされた。今は草刈や除雪などの市の仕事の委託がされ、事業を支えている。 行政と老人クラブの関係があるが、なぜ高齢者施策で老人クラブの課題が特化しているのか。超高齢化社会の中で様々な施策が有効に効果をあげることを期待している。 老人クラブに入るか入らないかは、そのクラブがいかによく活動しているかという問題もある。 高齢者の生きがい対策として、工夫のある施策がもっと考えられるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生きがい対策を充実するため、老人クラブの課題も含め、創意工夫した施策を考えるべき。 高齢者事業団の利活用策を考えた方がいい。
022	障がい者	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者団体は、国の施策もあり5～6年前から市が分割して仕事を委託している。公共施設の清掃など、仕事が増えてきている。 障がい者福祉は進んでいるが、まだ家にいる障がい者をどのように見守り手助けしていくか、表に出ない方への有効な手立てはないか課題。 障がい者の実態について、行政が調べる方策がない。精神障がい者は、保健所、それ以外は市だがプライバシーの問題があって調べられない。 障がい者福祉計画では、施設入所数などの推移が基本となっているが、潜在的な数を把握する独自の取り組みを期待したい。 町の中で障がい者が元気に働く姿を見ることが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の災害時支援対策のためにも情報収集し、実態把握をするための取り組みで、さらに障がい者福祉の向上に繋がる。
023	国民健康保険	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計からの繰出金では、国民健康保険の一人当たりの医療費が高い。まだ、医療費抑制ができる。 特定健診受診やジェネリック薬品普及率向上のため頑張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療費抑制のための取り組みを、さらに進める。 特定保健指導を強化するため、保健師体制の充実を図る必要がある。
024	後期高齢者医療（老人保健）	②	A	<ul style="list-style-type: none"> 適正に事業が運営されている。 安定的に運営されている。 特定健診受診促進など健康増進対策が、全道レベルでの広域連合で対応すると後退するのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック薬品の普及を進める。
025	医療費助成	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障に対する市民満足度が低い。 各種助成制度の周知が足りない（特にひとり親の助成事業について）。 全国一律の医療費助成を国に要望すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療費助成受給者の負担を軽減するため、継続した取り組みをすべき。
026	ひとり親・寡婦・助産	②	A	<ul style="list-style-type: none"> 自立や出産件数など状況は、把握しづらい。その中で評価できない。 ひとり親家庭でも経済的に安定し、自立した生活に向かって取り組んでいるとあるが、その成果、数字が必要。 各相談内容が分からなく資料が不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親の生活に関する実態をできる範囲で把握する。 経済的に困窮している世帯に対して、助産に係る費用負担だけでなく、安心して出産・子育てできる環境整備に力を入れてほしい。

第5次留萌市総合計画検証(留萌市議会)

A：政策の実現に向かっている B：政策の実現に近づいているが施策の見直し・改善が必要 C：政策の実現に近づいていないので根本見直し D：政策の実現に向かっていない

施策区分	分会	評価	施 策 検 証		第6次の政策又は施策（推進事業等を含む。）の実現に向けた提案等
			「成果指標」又は「目指す姿」	施策全般	
027 年金	②	C		<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金は法定受託事務で裁量権がなく、評価しづらい。ただ25年間保険料を支払って月62,000円。生活保護世帯になると月120,000円と矛盾がある。老後の安心に関わってくる。 ・社会補償制度改革で改革が行われていく度に受給者の年金額が下がる。 ・評価が受給事務だけか、年金総体をいうのか。厳しい評価になるが制度設計の問題もある。 ・不安感が解消されていない。消費税が上がっても年金額に反映されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老後の生活に抱える不安度は倍増しているため、年金制度に関する事等、不安解消に努めてほしい。
028 生活保護	②	B		<ul style="list-style-type: none"> ・市でできる支援体制は限られている。制度的にわかりやすいし、窓口トラブルも減っている。でも、すべきことはたくさんある。 ・市民の声を聞くと感情的トラブルがある。面倒見てやっているという言い方をされることもある。もっと気を遣うなど配慮も必要。 ・就労支援事業の成果があり、自立できる人が増えてきている。 ・国の生活保護制度であるので、生活困窮者の支援として適正に活用すべき。26年度の相談は年間101件。そのうち33件申請して31件受給決定。申請する際に自立支援の努力も必要。 ・自立支援の成果は評価するが、生活保護件数を減らすというのは目標ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護申請認定にあたっては、預金・持ち家・家族など条件による適正な審査を心掛けてほしい。
029 介護保険・介護予防	②	B		<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険や介護予防のサービスが市民に十分周知されていない。 ・介護施設も増え、介護サービスの選択肢が増えてきているので、介護環境は少しずつ良くなってきている。 ・介護を受けている人が安心して生活できるか。施設内にいろいろな問題が内在している。地域包括ケアシステムは整っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築のため、第6期高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画が検証され、安心して生活できる環境づくりを進めてほしい。
030 農業	①	B		<ul style="list-style-type: none"> ・集積、法人化について、検討してほしい。 	
031 林業	①	C		<ul style="list-style-type: none"> ・市独自の事業（環境整備）が行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の育成・確保、木材に利用促進や市民が森林と触れ合う機会の創出などの市独自の政策としての取組が必要である。
032 漁業	①	B			
033 地産地消	①	B			
034 省エネルギー・新エネルギー	①	C		<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集から実行に移してもらいたい。 ・新エネルギーについて推進してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・留萌の地域特性に合った再生可能エネルギーの方向性の検討や市民や事業者に対する情報発信と普及啓発などに、向けて積極的に取り組んでいく必要がある。
035 生活環境	①	B		<ul style="list-style-type: none"> ・環境マナーの改善等の取組が必要。 	
036 消費生活	①	A			
037 し尿処理	①	A			
038 火葬場	①	A			
039 墓地	①	A			
040 上水道	①	A			
041 下水道	①	A			
042 浄化槽	①	A			
043 河川・ダム	①	A			
044 除雪	①	B			
045 市営住宅	①	B		<ul style="list-style-type: none"> ・財政難を理由とした事業の先送りは、のちのち影響する。 	
046 火災・救急救命		-			
047 防犯	①	A			

第5次留萌市総合計画検証(留萌市議会)

A：政策の実現に向かっている B：政策の実現に近づいているが施策の見直し・改善が必要 C：政策の実現に近づいていないので根本見直し D：政策の実現に向かっていない

施策区分	分会	評価	施策検証		第6次の政策又は施策（推進事業等を含む。）の実現に向けた提案等
			「成果指標」又は「目指す姿」	施策全般	
048	交通安全	①	A	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体において、パトライト、街頭啓発を行っており、市民との連携を含めて様々な取り組みが行われていると評価する。 	
049	ごみ・一般廃棄物	①	A	<ul style="list-style-type: none"> 1市2町で広域に取り組んでいる。 	
050	防災	①	B	<ul style="list-style-type: none"> 町内会での自主防災組織の組織率が低い。 沿岸部における避難路の確保が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の組織率の向上と、冬期間の避難路の確保のために改善が必要。
051	税・税外収入	①	B	<ul style="list-style-type: none"> 収納率が向上し、努力が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 税収を伸ばすためには、どのようにしたら良いかということ視野に入れてほしい。
052	子ども未来・少子化対策	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 幼児療育通園センターは、組織体制の強化など新体制でスタートするので期待したい。 子ども施策についてはもっと力を入れて育成していかなければならない。 将来に向けて、安心して暮らせる地域になっているか、地域全体で見守りする態勢になっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども施策に関しては、子育てしやすいマチと感じる市民の割合はまだまだ低く、子ども子育て支援施策の拡大を願う地域全体の機運が高まっているので、更なる支援強化が必要。 少子化対策に繋がる施策を真剣に検討すべき。
053	保育園	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 実態として、沖見・みどり・留萌保育園の3園とも全て民間で運営。多様な認定保育園はない。認可外保育所として、「ヤクルト」「るもい記念病院」「留萌市立病院」がある。0歳児保育は「みどり」「留萌」保育園で実施。 ニーズに応えられるようにニーズ把握も必要。 市と保育所（園）がしっかり連携していく。 施策の老朽化問題もあるので、安心、安全な施設が図られるよう確認必要。 本来直営にするところを丸投げでやっているの、経営状況や体制について離すわけには行かない。 	<ul style="list-style-type: none"> 新年度、保育料の上乗せ部分が軽くなる。多様なニーズに対応するように、新たなサービスを検討すべき。 子育てに関する施策なので民間に丸投げではなく、連携を図りながら共に推進していくことが大切。 保育士の待遇改善や施設の老朽化対策も考えるべき。
054	幼稚園	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 少子化で幼稚園が定員割れになっているが、預かり保育なども行なって子どもを確保している。先生が来ないという実態もある。 保育料補助だが、事務手続きが大変なので簡素化できないかという声がある。 幼保一元化の議論の中で認定保育園という制度ができた。補助は大きい、自分たちの領域を守ろうとして検討されない。 幼稚園の居残り保育など融和されてきている。 市長の掲げる手厚い子育て政策が見えない。 	
055	幼児療育通園センター	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 留萌南部三市町の共同事業（留萌67名 増毛11名 小平8名 ※2才から15才まで） 体制的課題がある。 障がい児が増え、増えた場合の体制を取っていつている。 お母さんの情報交換や助け合いの交流が生まれている。 お母さんたちが子どもの発達に関心を持って、早期に相談に訪れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新年度に職員体制の充実が図られるが、施設環境の向上と療育環境の更なる整備が必要。
056	青少年・健全育成	②	B	<ul style="list-style-type: none"> 委託事業の「こわいおじさん・おばさん運動」の実態がわからない。現状として教育委員会が関わっていたが、ここ10年くらい把握していない。もし、しっかり取り組んでいくのであれば青少年連絡協議会を復活させてはどうか。 留萌市が青少年健全育成に期待を持って、さまざまな事業展開をしているが、そこに依拠しすぎて行政としての事業、方針が見えない。 非行防止に焦点が当たるだけでいいのか。青少年の健全育成についての施策は考えられないか。 「こわいおじさんおばさん」という名称に違和感がある。 居場所の問題、引きこもり、ニートにも光をあてる必要がある。 留萌市としての青少年・健全育成政策が見えていない。受託者に委託し満足している。マンネリ化しているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 青少年・健全育成施策は、地域全体で取り組んでいかなければならない。青少年健全推進員との懇談、地域の町内会青少年育成部長との連携など、関係団体との連携を図っていく必要があるのではないか。 非行防止だけではなく、地域の青少年問題に目を向け、「居場所づくり」など新たな施策に取り組むべき。 青少年健全育成の施策は、留萌市独自の取り組みを実施すべき。
057	学校施設	②	A	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校適正配置計画に基づいて統廃合が進められているが、検証をしながら計画の推進を図ってほしい。 潮静小学校の体育館の耐震化はまだできていないが、方向性は決まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃校舎の利活用については、留萌市学校小中適正配置計画の検証や今後について注視し、地域住民の意見を取り入れながら、安全で安心な施設利活用策を探してほしい。

第5次留萌市総合計画検証(留萌市議会)

A：政策の実現に向かっている B：政策の実現に近づいているが施策の見直し・改善が必要 C：政策の実現に近づいていないので根本見直し D：政策の実現に向かっていない

施策区分	分会	評価	施策検証		第6次の政策又は施策（推進事業等を含む。）の実現に向けた提案等
			「成果指標」又は「目指す姿」	施策全般	
058 学校教育	①	A			
		B		<ul style="list-style-type: none"> ・中体連の遠征費について、全道大会は配分された枠内で全国大会については別枠で措置するようになった。 ・児童・生徒の現状把握のために学力調査・体力調査が使われているが、地域の特性を活かした専門的指導が必要。もっと地域に合った体力向上を考えた方がいい。 ・学校独自の取り組みが見えてこない。 ・教育環境が整えられてきて、子どもたちが頑張っている。 ・全国学力調査では運動能力が少し落ちている。 ・地域に開かれた学校というのが、地域に身近な学校になってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に身近な学校になるように、日常的な取り組みを住民に知らせる工夫をしてほしい。 ・学力、体力向上を図るために地域の特性を活かした取り組みを工夫すべき。
059 学校給食	②	B		<ul style="list-style-type: none"> ・普段の給食の残菜の量はどうか。食べてもらえる給食か。議員として給食の試食をしてみたい。 ・献立表を見ると、郷土食を入れるなど工夫されている。 ・学校給食について考えるのであれば給食センター見学及び給食試食会事業は、ゼロ事業ではなく予算付けした方がいい。 朝食抜きでくる子もいるので、家庭では助かっている。 ・栄養教諭が減になって1名配置になっている。食育の指導を進めるのは、学校指導ばかりでなく保護者にも食育のことを勧める。 ・安心安全の給食を提供しているが、設備はどうなっているのか知る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数の子にこだわらずに地産地消を推進してほしい。 ・残食量の減少に今後も取り組むべき。 ・給食センターの機器更新を含め、給食センターの調理衛生環境改善を進めてほしい。 ・食育は大切、今後も力を入れて行くべき。
060 社会教育	②	B		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は貸出の他に読み聞かせなどの活動も行っている。これからも継続していけるようにしてほしい。 ・図書の貸出数が減少している現状。 ・社会教育環境の充実に対する満足度には、サークル活動だけではない。ニーズが多様化している。生涯学習に到達点はない。留萌市独自の生涯学習を考えるべき。 ・地元根ざした社会教育を目指していくべき。 ・地域の歴史を引き継いでいくため、資料（各種冊子、パフレット）の整理整頓を継続していく。 ・市史編纂の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育に対する市民ニーズは多様化している。まだまだ見直しが必要。 留萌市の特性を出した生涯学習を構築してほしい。
061 芸術・文化	②	B		<ul style="list-style-type: none"> ・文化を伝承していくことを考えたとき、伝承する人の高齢化が課題。留萌市の文化継承を積極的に推進していくための施策が必要。 ・施設の使用料が高く使いにくい。 ・各文化団体は努力している。補助金は削減され、優れた舞台芸術を受け入れる土台作りが出来ていない。 ・音を発する楽器の練習場所が限られている。 ・文化活動をする環境整備の市の関わりについて考えるべき。 ・何年も文化賞事業の受賞者がいないのは課題ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・留萌市の文化振興を図るため、人材育成など対策を講じる施策を考える必要がある。
062 スポーツ	②	B		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツという視点が必要。子どもから大人まで、障害者も高齢者もそこに行けば出来るという施設が必要。 また、生涯スポーツを考えるときに、「1市民1スポーツ」という考え方がある。今は全くやっていない。多様化しているので、分析をして方向性を決める必要がある。 ・「この指とまれ」事業は、全国的に評価されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿の検証を行い、参加競技の拡大も含め、今後の事業展開に期待したい。 ・生涯スポーツの10年間の実績をみると、押し並べて横ばい傾向にある。 子どもを中心にスポーツが、多様化しているので基金の活用も視野に入れながら、今後の方向性を考えた方がよい。
063 社会教育施設	②	C		<ul style="list-style-type: none"> ・達成となっているが、温水プールについて市民要望の見地からすると、評価基準に疑問がある。西ビルの利活用策も含め、温水プールも全面再開していない。 ・社会教育施設ではスキー場もなくなっている。クロスカントリーのコース整備も課題が大きい。 ・クロスカントリーは常設ではなくて、特設にしてももう少し利用度を高めたらいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西ビルの利活用策も含め、温水プールも全面再開に向けた検討を継続して行ってほしい。 ・スキー場整備を検討すべき。
064 観光・イベント	①	B		<ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの市民理解が進んでいない。 ・委託をしたイベント等においても、きちんとした戦略を市で持つ必要がある。 ・イベント一つひとつは達成しているが、観光全体で見ると不十分どころがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンアップ日本海事業は、海岸全域で実施を検討する必要がある。
065 国際交流	①	D		<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な交流を目的として、大幅な見直しが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市等の関係を含めて、行政としての国際交流推進の方向性が見えないので、改めて経済的な交流を含めて検討する必要がある。

第5次留萌市総合計画検証(留萌市議会)

A：政策の実現に向かっている B：政策の実現に近づいているが施策の見直し・改善が必要 C：政策の実現に近づいていないので根本見直し D：政策の実現に向かっていない

施策区分	分会	評価	施 策 検 証		第6次の政策又は施策（推進事業等を含む。）の実現に向けた提案等
			「成果指標」又は「目指す姿」	施策全般	
066	郷土文化・歴史	②	B		
067	文化財	②	C		・旧佐賀家番屋は観光資源になりうるが、かなりの費用がかかる。今後の方針を、関係機関で精査していく必要がある。
068	公園・緑地	①	C	・街区公園の整備を含めて、公園そのものの施策、政策の見直し、検討が必要。	・都市緑化の面だけでなく、子ども達の健全な発育、健康づくり、地域のふれあいの場や防災機能などを含めた公園のあり方を改めて検討する中で新たな政策を展開すべきである。
069	花・街路樹	①	D	・市民ボランティアや、市民が自発的に行っており、『市民参加』での整備は進んでいるものの、市が花・街路樹を将来どのようにしたいのかという計画は、見えていない。	・市としてランドデザインを示して、市民参加のもと計画的に進めることが望ましい。
070	留萌港	①	C	・物流拠点となるよう、抜本的に見直す必要がある。 ・港が賑わうようになると、それに付随して観光がついてくると考える。 ・親水性については、三泊緑地のほかの施策も考えてほしい。	・高規格道路網の整備を機として、改めて重要港湾としての存在価値を見極め、フェリー誘致以降の港の将来展望を検討する中で、継続的なポートセールスや企業誘致等の取組など、港を核とした経済の活性化や観光振興につながる取り組みが必要である。また、留萌港が日本海沿岸の漁港基地としての役割もあることから、安心安全な港湾整備も必要である。
071	貿易	①	C	・貨物量の安定的な取扱いを施策として考える必要がある。 ・ポートセールスについては、新規開拓をするべき。	・これまでのポートセールスを見直し、新しい地域、会社に訪問し留萌港の利活用に注力する必要がある。
072	都市経営	①	A		
073	地域振興	①	B	・ふるさと納税については返礼品目を増加したことについて評価するが、一層努力していただきたい。	・ふるさと納税については他都市の返礼品目を研究し、留萌らしい返礼品目を目指して一層努力していただきたい。
074	統計調査	①	B	・市民のニーズ、社会の変化に対応できるよう努力してほしい。	
075	広域行政	①	B	・広域連携として、留萌地域総合開発期成会以外の方策も必要ではないか。	・広域連携が今後さらに重要と考える。
076	財政	①	A		・財政の不健全化によって見直した部分を、各所管課で再検討が必要。
077	人事	①	B	・若年者の退職者が多く、職員の士気向上つながっておらず、根本的見直しが必要。	・若年者が早期退職しないように人事評価制度の充実をはかるなど、働きやすい環境をつくりだす努力が必要と考える。
078	人材育成	①	B	・充実した研修が行われてきている。 ・職員数が少ないことにより、人材育成する余力が無くなっているように見受けられるので、適正な職員数の確保を求める。 ・職員のやる気を育てる組織風土・職場環境をより強化してください。	・職員数が減少するため、これまで以上に一人ひとりの研修が重要と考えます。
079	財産管理	①	C	・使用していない土地の情報公開を進めるべき。	・土地利用のニーズの変化を見極めながら柔軟な土地利用の検討と、活用されていない土地の解消に向けて取り組む必要がある。また、使用していない土地の情報公開をわかりやすく進めるべき。
080	契約	①	A	・市内企業との契約数が増加してきている。 ・除雪の契約方法について、研究が必要。	
081	車両管理	①	A	・より一層効率的に使うことを求める。	
082	窓口	①	B	・市民満足度が向上するように、改善を求める。	
083	広報広聴	①	B	・広報誌は読みやすいという市民評価。 ・ホームページは、早めの掲載を求める。 ・市長とのフリートークへの参加者を増やす努力を。また、なぜ参加者が減っているのか、分析をしてほしい。	
084	請願・陳情及び不服申し立て	①	B	・制度のPRに努めるべきである。	
085	情報化	①	B		・セキュリティの強化を求める。
086	教育委員会	②	A		
087	選挙管理委員会	①	B	・低年齢層への啓発活動と、投票率向上に向けて取り組んでもらいたい。	
088	監査	①	A	・きめ細やかな監査が行われている。	
089	議会	①	A	・今後も実現に向けて取り組むべき。	
090	会計	①	A		

第5次留萌市総合計画検証(留萌市議会)

A：政策の実現に向かっている B：政策の実現に近づいているが施策の見直し・改善が必要 C：政策の実現に近づいていないので根本見直し D：政策の実現に向かっていない

施策区分	分会	評価	施策検証		第6次の政策又は施策（推進事業等を含む。）の実現に向けた提案等
			「成果指標」又は「目指す姿」	施策全般	
091 平和	①	B			・三船殉難事件について、学校授業での平和教育を求める。
092 褒章	①	A			
093 表彰	①	D		・財政健全化中の課題について、しっかり検討していくべき。	・功労者表彰等については、休止状態になっているため、市民の協働のまちづくりの励みとなるような新たな制度と表彰式典のあり方を含めて再構築する必要がある。
094 恩給	①	A			
095 公平委員会	①	—	※公平審査の実績が無いため評価していない		
096 庁舎管理	①	B		・ボイラーの入れ替え、LED照明化により、管理経費の削減に努めているので、実現に向けて努力している。 ・庁舎については、留萌市公共施設等総合管理計画の策定により、計画的な管理を推進する。	
097 秘書	①	A			
098 住基・戸籍	②	A			
099 その他の事務	①	A			

A	32施策	政策の実現に向かっている
B	47施策	政策の実現に近づいているが施策の見直し・改善が必要
C	17施策	政策の実現に近づいていないので根本見直し
D	3施策	政策の実現に向かっていない
—	2施策	評価なし